

1 日常の学習状況・課題について

- (1) 「授業中集中して取り組んでいますか。」という質問に、「とてもそう思う」と答えた生徒が53.7%、「そう思う」と答えた生徒が28%であった。また、「ペアやグループでの話し合いで、自分の考えを自分の言葉で伝えることができていますか。」という質問に、「よくできている」と答えた生徒が39.6%、「ほとんどできている」と答えた生徒が47.6%であった。授業への取り組みはおおむね良好である。
- (2) 授業内容への理解度は、個人差がある。基本的な計算でつまずいたままになっている生徒もいるが、小テストの再テストを実施したところ、努力する姿勢が見られた。
- (3) 課題を期限内に提出することができない生徒がいる。
- (4) 継続的な学習を課題としている生徒がいる。

2 改善の計画

(1) 学習面

① 基礎的な学習内容の定着

- ・毎回宿題を課し、授業内容の定着を図る。
- ・ワークを使って課題を与え、基礎から応用までの様々な問題に繰り返し取り組む。

② 数学的な考え方を広げ、表現する力を高める

- ・ワークシートを用いて、考え方を図や言葉で表す課題を実施、互いに発表する活動に取り組む。
- ・単元ごとに学習のまとめを行い、自ら学習内容を振り返る。

③ 必要に応じて、定着の確認のための小テストを実施する。

(2) 指導面

① 学力差のある生徒たちに、演習の時間を確保し、生徒同士が相談でき、教師に質問ができる場面を増やす。

② 問題を正しく理解できるよう、板書内容や発問等の工夫をする。

3 非認知能力を高めるための手だて

- (1) 生徒の関心・意欲を高めるため、教材・教具・指導方法の工夫をする。
- (2) 効果的な場面で、グループ形式で学び合う学習を取り入れていく。
- (3) ふりかえりシートを記入し、学習したことを自分の言葉で説明できる力を高める。

4 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを行い、変容を見る。
- (2) 年度末に、観点別学習状況の評価を前年度と比較する。